
平成22年3月期
第2四半期決算説明会

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

理想科学工業株式会社
平成21年11月6日

目次

1. 平成22年3月期中間決算総括	Slide	3～4
2. 平成22年3月期中間決算業績概要	Slide	5～9
3. 平成22年3月期中間活動サマリー	Slide	10～12
4. 平成22年3月期業績予想	Slide	13～15
5. 中期経営計画“Riso Vision 10”進捗	Slide	16～18

●本資料の記載情報

本資料におきましては便宜上、第2四半期累計期間を「中間」と表示しております。

また、表示金額につきましては、切捨てによる百万円単位となっております。

●将来見通しに関わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

平成22年3月期中間決算総括(1)

減収減益

- 売上高
 - 前年同期比52億5000万円の減収
 - 為替影響額は27億7000万円のマイナス
 - インクジェット事業(高速カラープリンター)
 - 「オルフィスXシリーズ」拡販で国内が牽引
 - 連結売上高の約27%を占める
 - 孔版事業(デジタル印刷機)
 - 国内外で販売減少



平成22年3月期中間決算総括(2)

減収減益

- 営業損失
 - 前年同期比11億2000万円の減益
 - 為替影響額は10億4000万円のマイナス
 - 販売管理費は減少したが、売上総利益減少が響く

- 中間純損失
 - 前年同期比96億6900万円の減益
 - 東京文具工業厚生年金基金からの脱退に伴う脱退時特別掛金約58億円を特別損失に計上
 - 繰延税金資産約31億円を取り崩した

平成22年3月期中間決算業績概要(1)

連結業績

(単位:百万円)

	平成21年 3月期中間	平成22年 3月期中間	対前年実績差異	
			金額	%
売上高	42,627	37,377	-5,250	-12.3%
売上総利益	21,193	17,638	-3,554	-16.8%
営業利益/損失	689	-431	-1,121	-
経常利益/損失	883	-250	-1,134	-
中間純利益/損失	192	-9,476	-9,669	-
為替レート (期中平均)	円/US\$	106.11	95.49	
	円/EURO	162.68	133.16	



平成22年3月期中間決算業績概要(2)

事業別売上高

(単位:百万円)

	印刷機器関連事業	不動産その他事業	合計
平成22年3月期中間	36,768	608	37,377
前期比(金額)	-5,299	49	-5,250
前期比(%)	-12.6%	8.8%	-12.3%
平成21年3月期中間	42,068	559	42,627

平成22年3月期中間決算業績概要(3)

地域別売上高

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
平成22年3月期中間	4,168	6,607	4,257	22,343	37,377
前期比(金額)	-1,346	-2,575	-969	-359	-5,250
前期比(%)	-24.4%	-28.0%	-18.5%	-1.6%	-12.3%
平成21年3月期中間	5,515	9,182	5,226	22,703	42,627



平成22年3月期中間決算業績概要(4)

地域別売上高 ー前期為替レートで換算

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
平成22年3月期中間	4,632	8,137	5,037	22,343	40,153
前期比(金額)	-883	-1,045	-189	-359	-2,474
前期比(%)	-16.0%	-11.4%	-3.6%	-1.6%	-5.8%
平成21年3月期中間	5,515	9,182	5,226	22,703	42,627

為替(期中平均レート)	1ドル	1ユーロ
平成22年3月期中間	95.49円	133.16円
平成21年3月期中間	106.11円	162.68円



平成22年3月期中間決算業績概要(5)

所在地別セグメント営業利益

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	消去	合計
平成22年3月期中間	-110	-71	284	-568	34	-431
前期比(金額)	256	407	-27	-1,377	-380	-1,121
前期比(%)	-	-	-8.7%	-	-	-
平成21年3月期中間	-366	-479	311	809	414	689

(注)アジア代理店向けは日本に含まれます。

平成22年3月期中間活動サマリー

中期経営計画の最終年度となる当期の重点課題

■高付加価値商品の販売による利益拡大

— 新製品投入による市場拡大、直販力強化および販路政策の見直し

■生産効率向上と購買力強化による原価低減

— 海外生産比率の見直しや内製化の促進、海外調達比率の向上

■市場が求める高付加価値商品の開発企画を促進

— 顧客ニーズに迅速に対応するための商品企画プロセスの見直し

■重点課題への経費の集中的投下、他項目は徹底削減

— 業績向上の重点施策や海外子会社の業績改善、新商品開発などに集中的に投下

— 経費全般を見直し徹底的な削減を実行

平成22年3月期中間活動サマリー(1)

■ 新製品、販売促進

－ 新製品投入

- ORPHIS X7200を平成21年5月から販売開始
高速カラープリンター「ORPHIS X」シリーズのベーシックモデル
- 海外向け「ORPHIS X」シリーズ（「ComColor」シリーズ）を7月から米国で販売開始



－ ソリューション提案

- バリアブルプリントソフトとの連携で、オフィスによるDMプリントシステムを提案



平成22年3月期中間活動サマリー(2)

■ コスト削減

- リソグラフ(単色機)の生産を中国に移管
→リソグラフの中国生産比率90%に
- 購買センターの効率化



RISOGRAPH RZ430

■ 特記事項

- 総合設立型の「東京文具工業厚生年金基金」から、9月末日付で脱退。脱退時特別掛金58億3500万円を特別損失に計上

平成22年3月期連結業績予想

■下期の取り組み

- 一 商品構成の強化による新規顧客獲得
- 一 販売チャネル整備
- 一 販売管理費の削減

平成22年3月期連結業績予想(1)

(単位:百万円)

	平成21年3月期 実績	平成22年3月期 予想	対前年実績差異	
			金額	%
売上高	83,774	78,700	-5,074	-6.1%
営業利益/損失	-913	-950	-37	—
経常利益/損失	-695	-550	145	—
当期純利益/損失	-641	-10,200	-9,559	—
連結ROE	—	—		
売上高営業利益率	—	—		
為替レート (期中平均)	円/US\$	100.54	91.00	
	円/EURO	143.48	129.00	

平成22年3月期連結業績予想(2)－前提条件－

■ 想定為替レート

1ドル: ￥ 91

1ユーロ: ￥129

■ 為替変動によるインパクト(1円変動時/通期)

	売上高	営業利益
円/US\$	1億5,000万円	5,000万円
円/EURO	9,000万円	5,300万円

中期経営計画の進捗

第三次中期経営計画 “Riso Vision 10”

(2008年:平成20年3月期～2010年:平成22年3月期)

【経営目標】

IJ事業・孔版事業において新規顧客の獲得を重要課題として取り組み

連結売上高 1,000億円

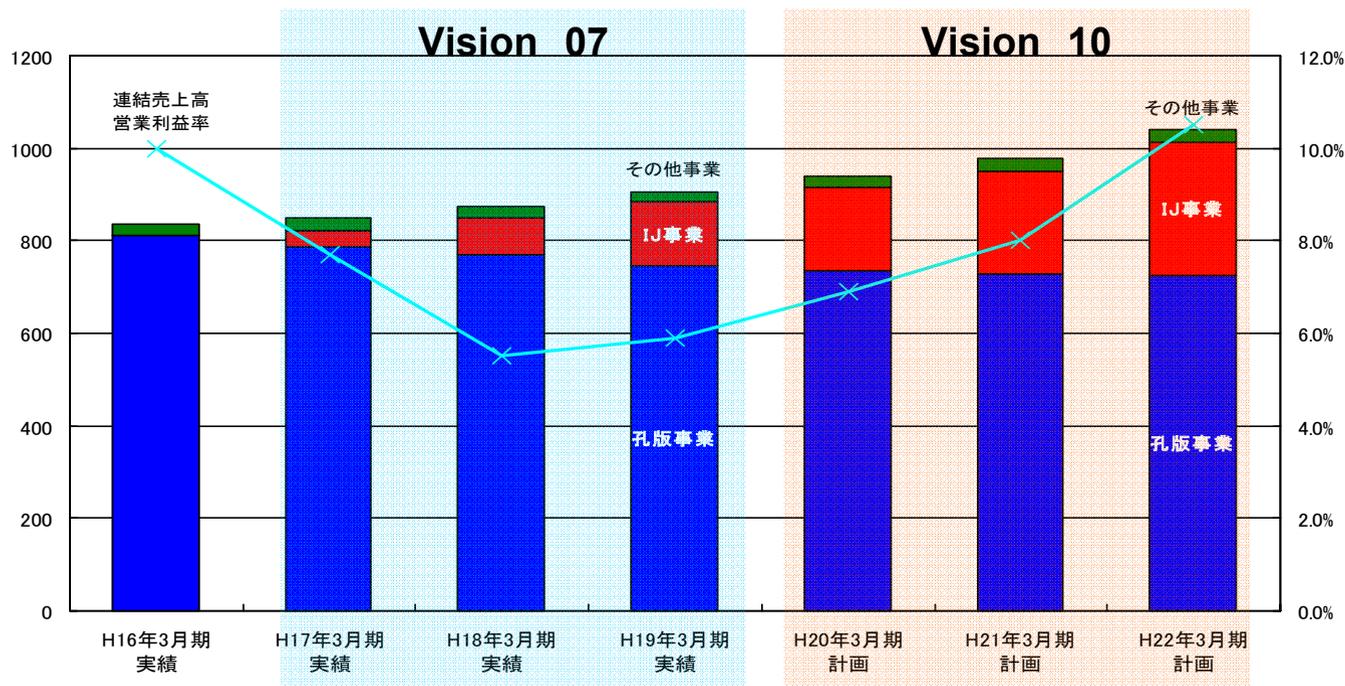
連結売上高営業利益率 10%

を目指す

【基本方針】

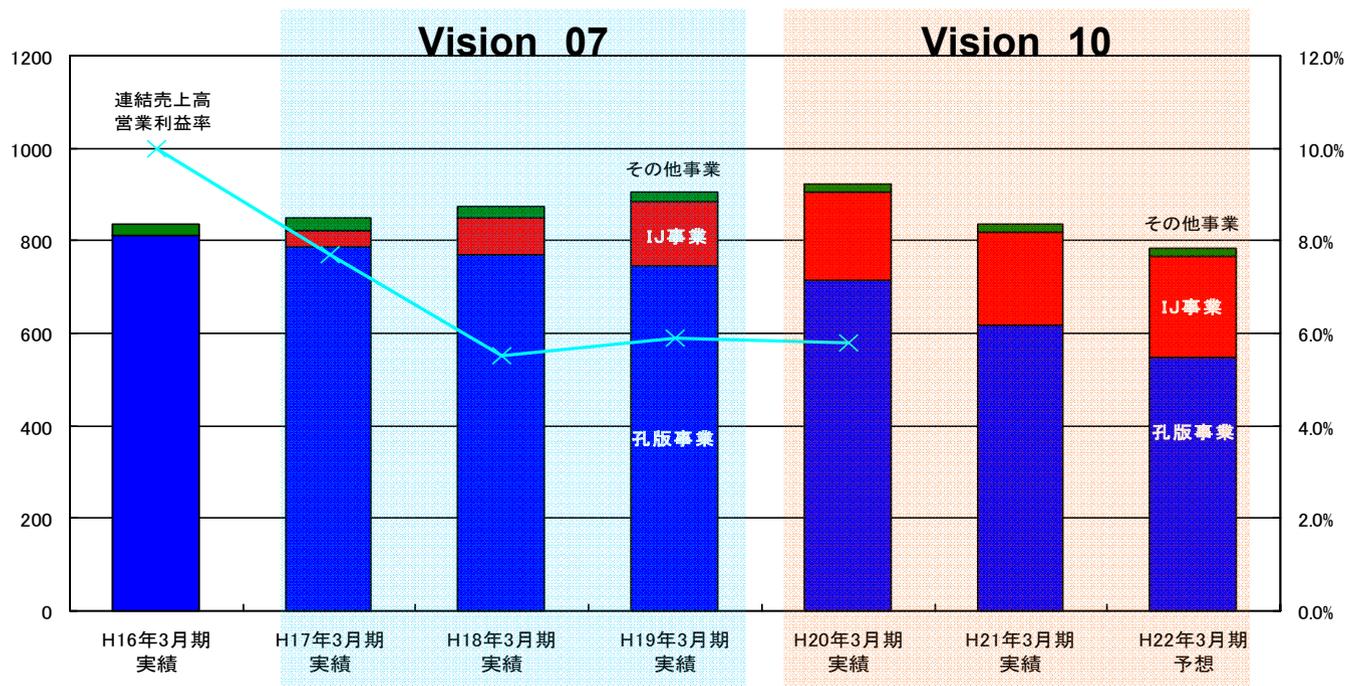
1. インクジェット事業におけるハード設置の更なる加速
2. 孔版事業における新規顧客獲得
3. 新たな柱となる事業の創出
4. 事業環境変化を先取りした開発・技術・製造投資の実行
5. リーダー人材を創出する企業風土の醸成
6. CSR活動推進による企業価値の向上

第三次中期経営計画“Riso Vision 10”－策定時の計画－



米ドル	113.00	113.00	113.00
ユーロ	152.00	152.00	152.00

第三次中期経営計画“Riso Vision 10”－現時点での予測－



米ドル	114.28	100.54	91.00
ユーロ	161.53	143.48	129.00